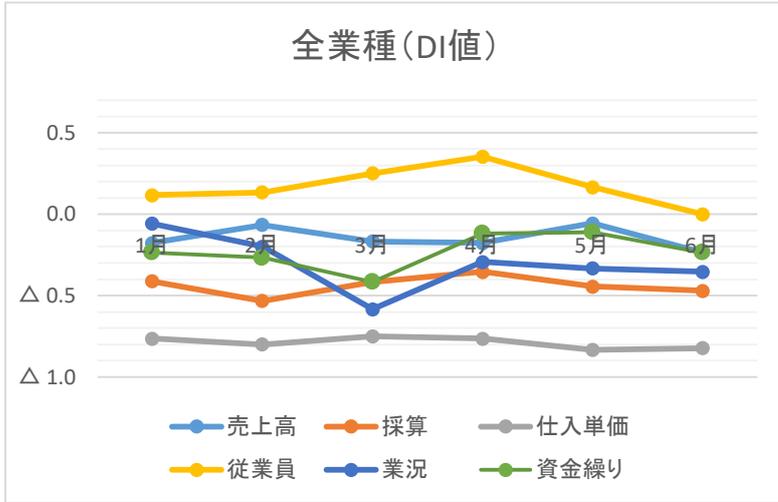


白河商工会議所LOBO調査結果(令和4年6月分)

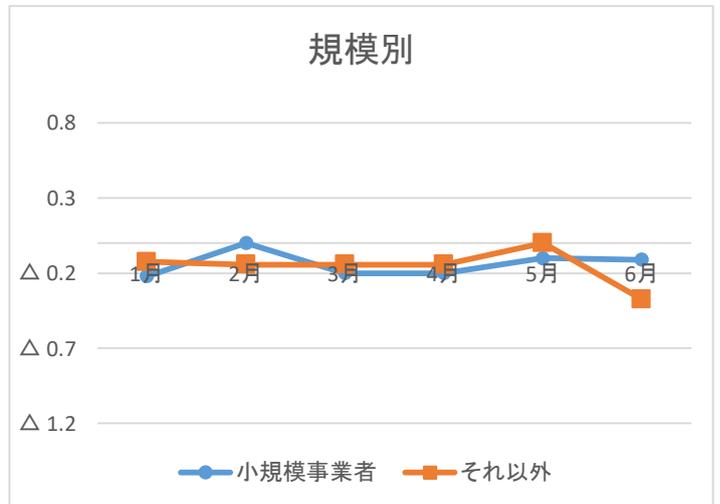
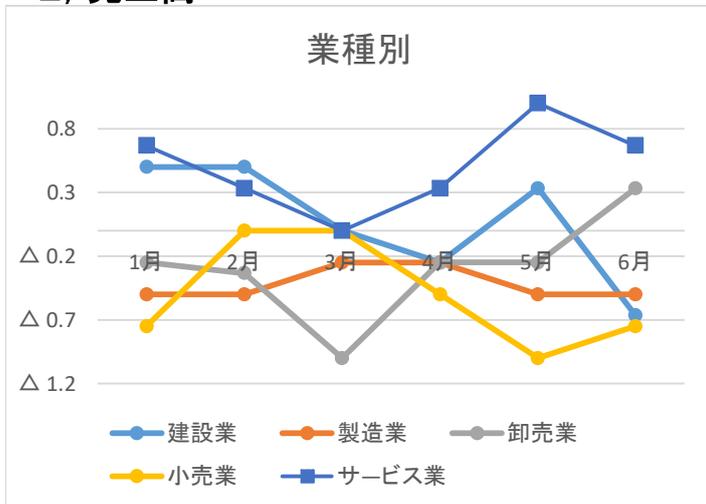
実施期間: 令和4.6.7~6.20 回答事業所: 17事業所

1, 全業種DI値



6月の全業種DI値を見ると、売上高・採算・業況・資金繰りが-0.1ポイント、従業員が-0.2ポイント下降した。
一方で、仕入単価は横ばいとなった。

2, 売上高

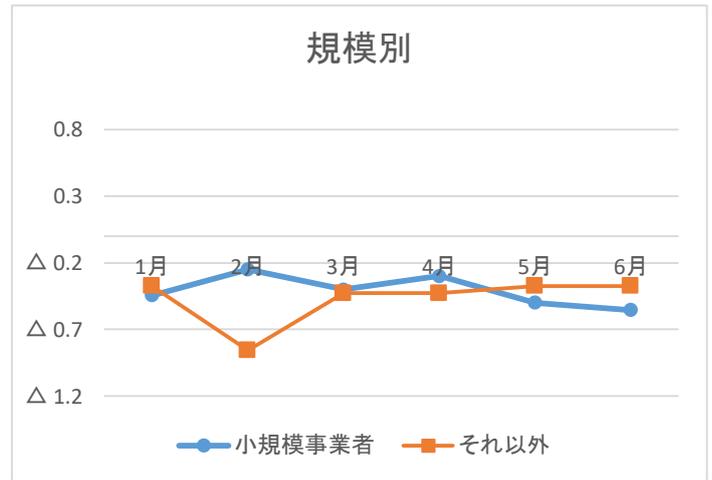
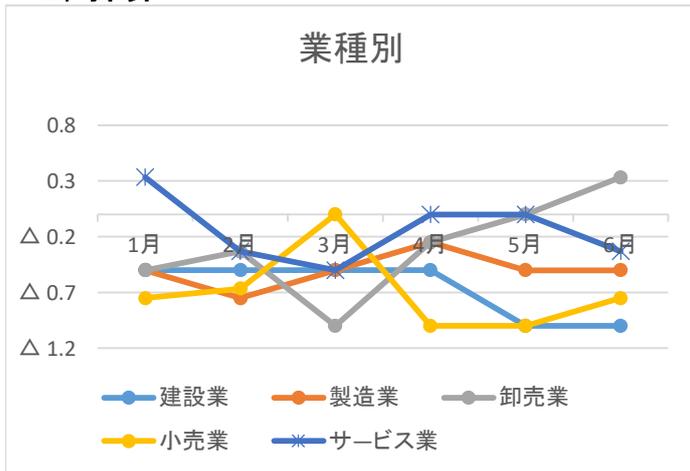


売上DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2
建設	0.5	0.5	0.0	△ 0.3	0.3	△ 0.7
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.3	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.3	0.3
小売	△ 0.8	0.0	0.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 0.8
サービス	0.7	0.3	0.0	0.3	1.0	0.7
小規模	△ 0.2	0.0	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.1
それ以外	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1	0.0	△ 0.4

全産業の売上DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見てみると、卸売業が+0.6ポイント、小売業が+0.2ポイント上昇した。
一方で、建設業が-1.0ポイント、サービス業が-0.3ポイント下降した。製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると小規模は横ばい、それ以外は-0.4ポイント下降という結果となった。

3, 採算

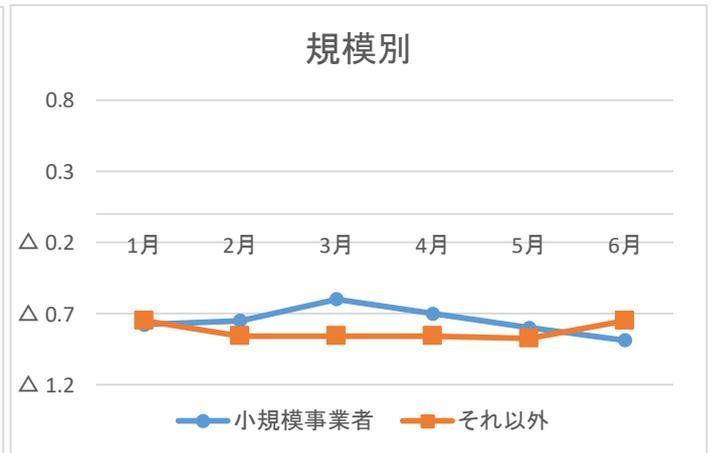
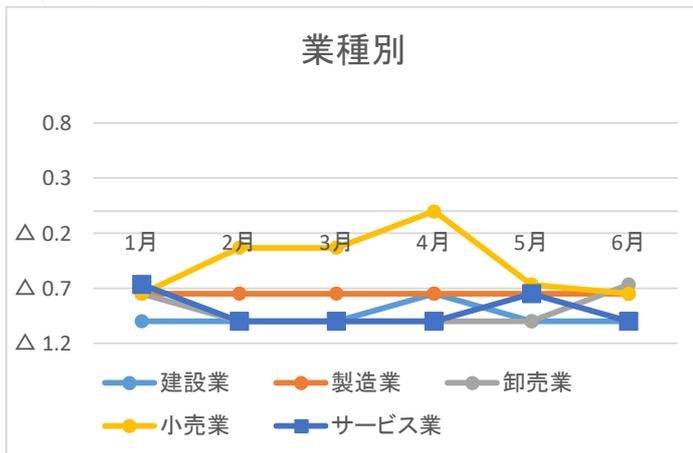


採算DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.5
建設	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.5	△ 0.3	△ 1.0	△ 0.3	0.0	0.3
小売	△ 0.8	△ 0.7	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8
サービス	0.3	△ 0.3	△ 0.5	0.0	0.0	△ 0.3
小規模	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.6
それ以外	△ 0.4	△ 0.9	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4

全産業の採算DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見てみると、卸売業は+0.3ポイント、小売業は+0.2ポイント上昇した。
一方でサービス業は-0.3ポイント下降した。建設業、製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント下降、それ以外は横ばいであった。

4, 仕入単価

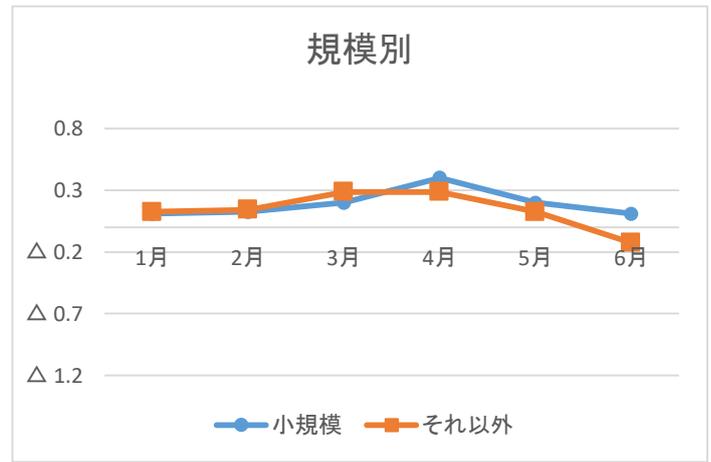
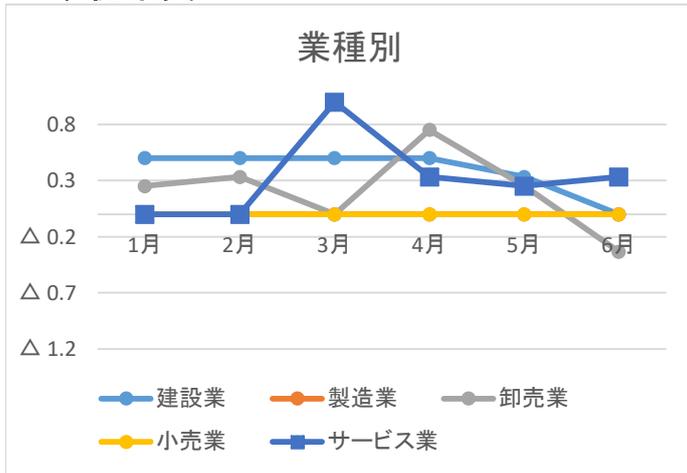


仕入単価DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
建設	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0
製造	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.7
小売	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.7	△ 0.8
サービス	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8	△ 1.0
小規模	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.6	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.9
それ以外	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.9	△ 0.8

仕入単価の全産業DIは前月と同じである。
業種別に見ると、卸売業は+0.3ポイント上昇した。
一方で、小売業は-0.1ポイント、サービス業は-0.2ポイント下降した。建設業、製造業は横ばいとなった。
規模別に見ると、小規模は-0.1ポイント下降、それ以外は+0.1ポイント上昇という結果となった。

5, 従業員

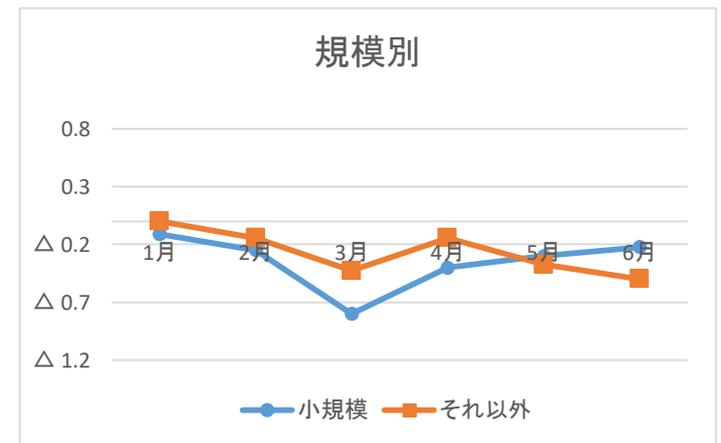
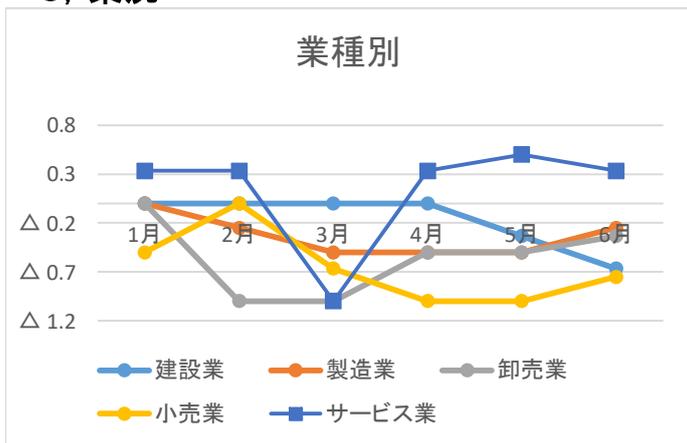


従業員DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	0.1	0.1	0.3	0.4	0.2	0.0
建設	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.0
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売	0.3	0.3	0.0	0.8	0.3	△ 0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス	0.0	0.0	1.0	0.3	0.3	0.3
小規模	0.1	0.1	0.2	0.4	0.2	0.1
それ以外	0.1	0.1	0.3	0.3	0.1	△ 0.1

従業員の全産業DIは前月から-0.2ポイント下降した。
業種別にみると、建設業は-0.3ポイント、卸売業が-0.6ポイント下降した。
製造業、小売業、サービス業は横ばいとなった。
規模別にみると、小規模は-0.1ポイント、それ以外は-0.2ポイント下降した。

6, 業況

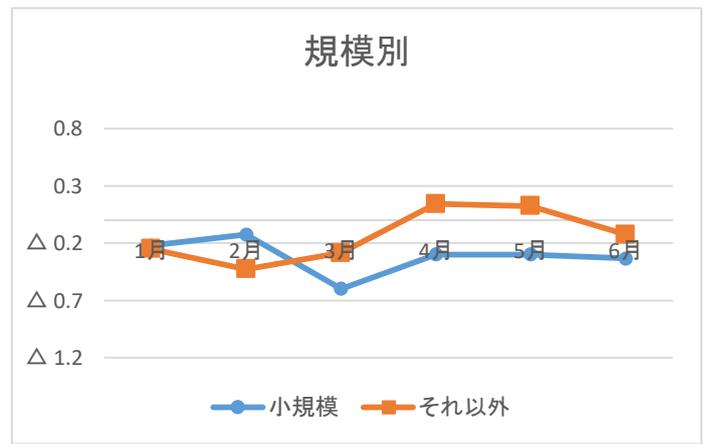
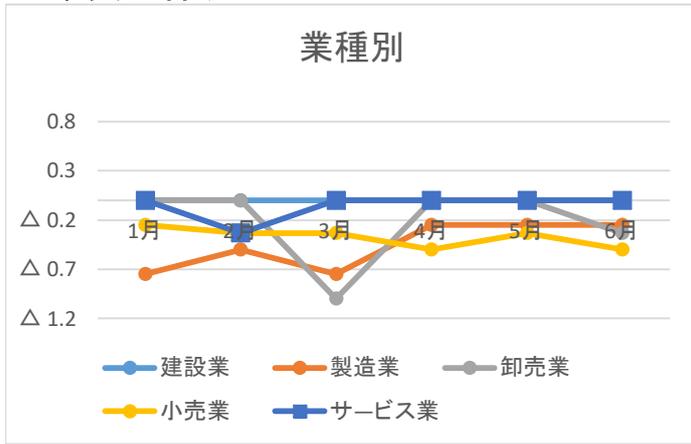


業況DIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3	△ 0.7
製造	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
卸売	0.0	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3
小売	△ 0.5	0.0	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.8
サービス	0.3	0.3	△ 1.0	0.3	0.5	0.3
小規模	△ 0.1	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.2
それ以外	0.0	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.5

業況の全産業DIは前月から-0.1ポイント下降した。
業種別に見ると、製造業・卸売業・小売業が+0.2ポイント上昇した。
一方で、建設業は-0.4ポイント、サービス業は-0.2ポイント下降した。
規模別で見ると、小規模は+0.1ポイント上昇、それ以外は-0.1ポイント下降という結果となった。

7, 資金繰り



資金繰りDIの推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全産業	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2
建設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造	△ 0.8	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
卸売	0.0	0.0	△ 1.0	0.0	0.0	△ 0.3
小売	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5
サービス	0.0	△ 0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
小規模	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.6	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3
それ以外	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	0.1	0.1	△ 0.1

資金繰りの全産業合計DIは前月から-0.1ポイント下降した。
 業種別に見ると卸売業は-0.3ポイント、小売業は-0.2ポイント下降した。
 建設業、製造業、サービス業は横ばいとなった。
 規模別に見ると、小規模は横ばい、それ以外は-0.2ポイント下降した。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1				1
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程度減少)		2	1	2		5
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)	1	1	2	1	2	7
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2			1	1	4
⑤影響はない						0
⑥分からない						0
⑦回答不能						0

2.付帯調査【賃上げについて】

2-1 2022年度の賃上げの状況について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①業績が改善しているため、賃上げを実施した	1		1			2
②業績の改善が見られないが、賃上げを実施した	1		1	2		4
③賃金は同水準を維持する	1	2	1	1	3	8
④賃金は引き下げる		1				1
⑤現時点では未定		1				1
⑥回答不能				1		1

2-2 2-1で①～②と回答した方にお伺いします。2022年度の賃上げの内容について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①定期昇給を実施した	1		1	1		3
②ベースアップを実施した	1		1	2		4
③手当の新設・増加				2		2
④一時金(賞与)を増加した	1	1				2
⑤回答不能						0

2-3 2-1で①～②と回答した方にお伺いします。正社員の賃上げを行う理由について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①人材確保・定着やモチベーション向上のため	2		2	3		7
②最低賃金が引き上げられたため				2		2
③新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げたため				1		1
④時間外労働の削減により手取り額が減少しているため						0
⑤社会保険料の増加により手取り額が減少しているため						0
⑥他社より低い賃金になっているため						0
⑦数年来、賃上げを見送っていたため						0
⑧物価が上昇しているため	1		1	1		3
⑨税制の優遇措置を利用するため						0
⑩その他						0
⑪回答不能						0

2-4 2-1で③～⑤と回答した方にお伺いします。正社員の賃上げを見送るもしくは未定とする理由について、選択肢からお選びください。

	建	製	卸	小	サ	合計
①今後の経営環境・経済状況が不透明なため	1	2	1		3	7
②業績の改善が見られないため		1	1		2	4
③社会保険料の増加により会社負担が増えているため					2	2
④すでに他社と同水準の賃金になっているため						0
⑤増員による総人件費の増加を抑えるため						0
⑥新商品開発や販路開拓、設備投資等を優先するため						0
⑦非正規社員の賃金を引き上げる一方で、総人件費の増加を抑えるため		1				1
⑧研修や福利厚生の充実を優先するため						0
⑨その他						0
⑩回答不能						0

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響についての付帯調査では、「ある程度のマイナスの影響が続いている」と答えた事業所が最も多く41.2%だった。すべての事業所が少なからずマイナスの影響を受けている結果となった。

賃上げについての付帯調査では「賃金は同水準を維持する」と回答した事業所が最も多く47.1%を占めた。

また、賃上げを実施した事業所の調査においては、「ベースアップを実施した」と回答した事業所が最も多かった。正社員の賃上げを行う理由として「人材確保・定着やモチベーション向上のため」が最も多かった。

一方で、賃上げ見送り・現状維持等の事業所においては「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」と回答した事業所が最も多かった。